

庄和地区公民館・庄和南公民館

◇運営の基本方針

地域住民の学習意欲を醸成するための学習機会を提供し、充実した人生を築くための生涯学習拠点となるよう環境を整える。また、庄和地区の連帯意識を高め、地域コミュニティづくりを進める。

◇重点施策

- 1 世代間交流と地域の連帯感を育む。
- 2 地域住民参画による自主的・自発的な事業活動を支援する。
- 3 各種団体、地域住民との協働による事業の展開を図る。

◇重点事業

- | | |
|------------|----------|
| 1 庄和地区市民大学 | 2 公民館まつり |
| 3 庄和地区体育祭 | 4 正風館音楽祭 |

庄和地区公民館

所在地 〒344-0116 春日部市大倉307番地1
TEL 048-746-6666
FAX 048-746-6669
E-mail seifukan@city.kasukabe.lg.jp



庄和南公民館

所在地 〒344-0124 春日部市米崎357番地
TEL 048-745-3000
FAX 048-745-3002
E-mail s-nankou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長(兼務)	當間正恵
	主査(兼務)	長谷川崇
	主任(兼務)	山崎孝一
	主任(兼務)	吉田和正
	主事(兼務)	吉田英明
	主事(兼務)	佐藤拓実(危険物取扱者)
	フルタイム(兼務)	落合珠美
	フルタイム(兼務)	榎澤智子
	フルタイム(兼務)	前島浩子

庄和地区 1

事業名 テーマ	庄和地区市民大学		対象	一般		定員	20・21期生 29名	
ねらい	地域住民に多種多様な内容の学習をする機会を提供し、地域に貢献できる人材育成を図るとともに、交友範囲を広げてもらい、より有意義な生活を送ってもらうことを目指す。							
協力機関 及び団体	庄和地区市民大学運営委員会 庄和地区市民大学学友会		特色 位置づけ	重点事業 地域で活動できる 人材づくり		SDGs の目標 No.	4・11・17	
会場	庄和市民センター正風館 会議室・講義室 ほか		教材 資料等	講師持参等				
実施ま での経 過	1月下旬～ 2月13日～ 5月6日	広報 入学受付 開講式 講座(原則毎週金曜日)	PR方法	公民館だより4月号・広報かすかべ ポスター・募集要項・チラシ ホームページ・入学説明会				
	～2月3日			受付方法	学費を添えて正風館窓口へ申込み			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
5月6日(金)	13:00～15:30	開講式・オリエンテーション	説明	17	14	31	市民大学運営委員会	
5月13日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	講義	16	14	30	文教大学人間科学部 青山 鉄兵	
5月20日(金)	13:30～15:30	社会学科郷土史講座	講義	17	12	29	春日部市文化財保護課学芸員 長谷川清一	
5月27日(金)	13:30～15:30	環境学科リサイクル講座	講義	17	13	30	産業技術研究所 小寺 洋一博士	
6月3日(金)	10:30～13:00	芸術学科古典芸能鑑賞講座	鑑賞	16	13	29	国立劇場歌舞伎芸能	
6月10日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	説明	16	12	28	市民大学運営委員会	
6月17日(金)	8:30～16:00	科学学科宇宙講座	体験	15	14	29	筑波宇宙センター(JAXA)見学	
6月24日(金)	14:00～16:00	社会学科歴史講座	講義	16	13	29	東洋大学 白川部 達夫 名誉教授	
7月1日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	説明	15	14	29	市民大学運営委員会	
7月8日(金)	13:30～15:30	教育学科ディベート講座 1	講義	16	15	31	文教大学人間科学部 青山 鉄兵	
7月15日(金)	13:30～15:30	教育学科ディベート講座 2	講義	16	14	30	文教大学人間科学部 青山 鉄兵	
7月22日(金)	13:30～15:30	教育学科ディベート講座 3	講義	15	15	30	市民大学運営委員会	
7月29日(金)	13:30～15:30	教育学科ディベート講座 4	討論	14	14	28	文教大学人間科学部 青山 鉄兵	
8月5日(金)	13:30～15:30	社会学科地方自治講座	講義	14	14	28	春日部市議会事務局 主任 石橋啓亮	
9月9日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	講義	12	14	26	文教大学人間科学部 金藤 ふゆ子	
9月16日(金)	13:30～15:30	生活学科健康講座	講義	14	10	24	筑波大学 中田 由夫 准教授	
9月24日(土)	8:30～10:30	生活学科ボランティア講座	講義	8	7	15	NPO法人庄和ふる里を守る会	
10月2日(日)	10:30～17:30	環境学科地球環境講座	講義	9	9	18	埼玉県環境科学国際センター	
10月14日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	講義	11	15	26	庄和図書館 池田館長	
10月21日(金)	12:00～16:00	健康学科スポーツ一般講座	体験	9	11	20	グラウンド・ゴルフ 庄和総合公園	
11月11日(金)	13:00～15:30	芸術学科美術鑑賞講座	鑑賞	10	12	22	国立新美術館 日展	
11月18日(金)	13:30～15:30	芸術学科音楽鑑賞講座	鑑賞	12	13	25	新日本フィルハーモニー交響楽団	
11月25日(金)	9:30～12:00	教育学科教養講座	講義	11	13	24	宇都宮大学国際学部 佐々木 一隆	
12月2日(金)	9:30～12:00	芸術学科工芸実習講座	体験	11	14	25	凧作り 宝凧の会	
12月9日(金)	13:30～17:00	健康学科スポーツ一般講座	体験	8	9	17	ユニカール 庄和体育館	
12月16日(金)	13:30～15:30	教育学科社会教育教育講座	講義	12	11	23	文教大学人間科学部 青山 鉄兵	
12月23日(金)	13:30～15:30	生活学科防災講座	講義	10	15	25	宇都宮共和大学 陣内 雄次	
1月13日(金)	13:00～15:30	教育学科教養講座	発表	10	15	25	市民大学運営委員会	
1月20日(金)	13:30～15:30	健康学健康一般講座	講義	11	11	22	埼玉県立大学 久保田准教授	
1月27日(金)	13:30～15:30	教育学科教養講座	発表	11	15	26	市民大学運営委員会	
2月3日(金)	13:30～16:00	教育学科教養講座	発表	12	14	26	文教大学人間科学部 青山 鉄兵	
31回	78時間			401	399	800		
企画運営上 の工夫	学生同士が積極的にコミュニケーションできるよう、ホームルームを実施した。 県の出前講座などを活用し、低コストによる事業運営を図りながら、大学教授を講師に起用し、幅広い知識の習得を目指すカリキュラムとした。 新型コロナウイルス禍でも実施できるよう、検温や消毒、パーティション設置等の感染対策に配慮した。							
成 果 参加者 の 声 など	今年度も新型コロナウイルスの影響が大きく、コロナ対策を講じたうえで実施した。参加者からは「講義も興味深く、ためになるものが多かった」や「課外での授業やクラブ活動も活発で楽しみが増えた」など好評だったようだ。							
課題と展望	次年度も運営委員の皆様と協力して事業を運営していきたい。							

事業名 テーマ	2022庄和地区公民館まつり		対象	一般		定員	各部屋の 定員	
ねらい	日頃、活動している団体・個人が、その活動の成果を広く地域の方々に鑑賞してもらい生涯学習の推進と交流を図り、活動成果の発表の機会、サークルと地域の方との交流の機会、活動に新しく参加する人を期待する機会を来場された市民の方々に理解していただくことで、公民館活動の一層の発展を期す。							
協力機関 及び団体	庄和地区公民館まつり実行委員会 庄和地区市民大学学生会		特色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No	4・11・17	
会場	庄和市民センター正風館 全館		教材 資料等	まつりプログラム 参加サークルの作品				
実施ま での経過	3月11日	第1回実行委員会	PR方法	ポスター・チラシ 公民館だより(4、8、11月号) 安心安全メール				
	4月1日～22日	参加団体募集		受付方 法	4月1日～4月22日までに庄和地区 公民館(正風館)窓口に参加料 2,000円を添えて申込み。			
	5月7日	委員長会議						
	6月2日	第2回実行委員会						
	8月26日	第3回実行委員会						
	9月18日	第1回参加団体説明会						
	9月30日	第4回実行委員会						
	10月14日	第5回実行委員会						
	10月30日	第2回参加団体説明会						
	11月26日・27日	事業実施日						
	1月13日	第6回実行委員会						
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
11月26日(土)	9:00～16:00	公民館まつり 1日目 公民館まつり 2日目	鑑賞 ・ 観覧	265	633	898	実行委員会	
11月27日(日)	9:00～15:45			266	332	598		
2回	13時間45分			531	965	1,496		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会を中心とした参加団体による自主運営。 ・参加団体募集では正風館、庄和南公民館、南桜井駅、庄和総合支所にポスターを掲示するほか、昨年度参加団体に積極的に声掛けをし、参加団体を募集した。 ・ガイドラインを遵守し、ロビーを使用し広く受付を設けたりして、新型コロナウイルスの感染対策に特に注意して実施した。また、受付に関しては参加団体にも協力員を依頼した。 ・中野小学校に依頼して絵画(代表作品26点)を展示した。 ・舞台は整理券制とした。 ・年少リーダーを迎えて、パッチンカエル作りをした。 							
成果 参加者の 声など	参加団体からは3年ぶりにまつりが実施できたことを喜ぶ声が多かった。また、来場者との交流もできて団体によっては新しい団員が増えたところもあったようだ。							
課題と展望	コロナ禍でのまつり実施のかたちを模索できたと思われる。また、小学校の絵画展示は好評であったため続けていきたい。今年度は、コロナ対策を厳格に実施したため、ロビー等の催しも無く、例年と比べると盛り上がりは少し欠けていた。さらに、参加団体や関係者の高齢化も課題である。次年度もまつりが参加者にとって良い発表の機会となるように計画していきたい。							

庄和地区 3

事業名 テーマ	令和4年度春日部市民体育祭 庄和地区体育祭		対象	地区住民		定員	種目ごと
ねらい	地域住民の交流・親睦を深めるとともに、体力向上による健康増進を図る。						
協力機関 及び団体	春日部市・庄和地区自治会連合会 春日部市コミュニティ推進協議会 庄和地区体育祭実行委員会		特色 位置づけ	重点事業		SDGs の目 標No.	3・17
会場	庄和総合公園多目的広場		教材 資料等	プログラム 各競技参加者に賞品			
実施ま での経過	5月29日(土) 規模縮小での開催決定 6月25日(土) 第1回実行委員会 7月30日(土) 第2回実行委員会 8月2日(火) 中止決定		PR方法	ポスター 公民館だより			
			受付方法	各地区・自治会を通じての事前申 込 当日、会場での申込			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	合計	
			計	計			
10月9日(日)	8:30~13:00	体育祭当日	競技	中止			
		新型コロナウイルス感染症拡大防止の ため中止					
0回	0時間			0	0		
企画運営上 の工夫	<p>①庄和地区体育祭実行委員会は庄和地区自治会連合会・庄和地区スポーツ推進委員・庄和地区小中学校長会・スポーツ団体の代表を実行委員として構成し運営する。また区対抗種目抽選会・競技説明会や競技役員全体説明会などを行い、体育祭での役割分担を説明し、地域コミュニティの推進を図り、円滑な体育祭開催の準備・運営に努める。</p> <p>②令和4年度春日部市民体育祭地区大会 開催ガイドラインに基づいて開催する。</p> <p>③新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、マスク着用とアルコール消毒を徹底する。</p> <p>④規模縮小のため、競技種目の見直しを行った。</p> <p>⑤開会式での入場行進は行わないなど、密を避けることに努める。</p>						
成果 参加者の 声など	新型コロナウイルス感染症に対する、市民の安心安全面を最優先に考えやむを得ず、市の実行委員会で中止決定。						
課題と展望	5月29日時点で、規模縮小での開催を決定したものの、その後に新型コロナウイルスの感染者急増により、中止となった。 次年度の開催に向けて準備を進めていきたい。 また、年々、参加する地区・自治会が減少しているため、競技種目や開催方法についても検討する必要がある。						

事業名 テーマ	第37回 正風館音楽祭		対象	公民館利用団体 一般	定員	観覧者 250人	
ねらい	音楽活動の成果発表の機会とし、市民の交流と学習意欲の喚起を促す。						
協力機関 及び団体	第37回正風館音楽祭実行委員会 ピアニスターズ	特色 位置づけ	重点事業	SDGs の目 標No.	4・11・17		
会場	庄和市民センター正風館 1階 大ホール		教材 資料等	プログラム			
実施ま での経過	5月 6月1日(水) ～30日(木) 6月18日(土) 6月26日(日) 7月13日(水) 9月14日(水) 10月12日(水) 10月19日(水) ～21日(金) 10月22日(土) 10月23日(日) 11月9日(水)	募集要項作成 参加団体募集 (もりあげ隊6/1～) もりあげ隊練習日 もりあげ隊練習日 第1回 実行委員会 第2回 実行委員会 第3回 実行委員会 リハーサル 前日準備 当日 第4回 実行委員会	PR方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター、チラシ ・公民館だより(6月号・10月号) ・春日部遊学フェスティバル参加 			
			受付方法	団体は、6/1～30までに参加費 2,000円を添えて正風館窓口へ もりあげ隊は、6/1～正風館へ 参加費は500円(初回徴収) 観覧者は、当日、連絡先・氏名を記 載の上観覧(人数制限250人)			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
10月23日(日)	13:00～16:00	庄和地区内で音楽活動 に親しんでいる団体の成 果発表 	発表会	54	168	222	参加団体から選出さ れる実行委員による 自主運営形式 「音楽祭りもりあげ隊」 指導者 ピアニスターズ
1回	3時間			222		222	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会中心の自主運営を目指す。 ・参加団体から参加費を徴収し、運営費に充てる。 ・ポスター、チラシ、公民館だより、公民館ブログ、かすかべ遊学フェスティバルの参加などでPRを図る。 ・音楽祭りもりあげ隊を募集し、個人で活動している人たちを集め、参加できるようにした。 						
成 果 参 加 者 声 など	<ul style="list-style-type: none"> ・出演団体12団体が出演した。 ・実行委員会で十分に意見交換し円滑に運営できた。 ・出演団体のアンケート及び参加者からのアンケートでは、3年ぶりに無事開催できたことや、出演者の頑張りを評価する声などがあつた。 また、音楽祭りもりあげ隊を募集したことで、公民館を利用している団体以外の方々にも参加していただくことができた。						
課題と展望	コロナ禍のため、3年ぶりの開催となったが、地域で守られながら続いてきた音楽祭なので、新しい出演者や家族ぐるみの観覧者を呼び込みながら継続したい。						

庄和地区 5

事業名 テーマ	井戸端サロン		対象	おおむね50歳以上の方		定員	15名	
ねらい	定期的に開催し、高齢者の居場所づくり、仲間づくりを進める。							
協力機関 及び団体	井戸端サロンふれあい隊		特色 位置づけ	高齢者コミュニティカフェ事業		SDGs の目標 No.	3・4・17	
会場	庄和市民センター正風館 多目的室 他		教材 資料等	講師持参				
実施までの経過	3月下旬	井戸端サロンふれあい隊 と打ち合わせ 順次実施 公民館だより掲載	PR方法	公民館だより掲載 ポスター掲示・チラシ配架				
	4月1日から 偶数月		受付方法	事前受付または当日受付 参加費 100円				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男	女	合計		
回数	総時間数		計	計	合計			
4月11日(月)	10:00~12:00	花見(庄和総合公園)	散策	1	9	10		
4月25日(月)	10:00~12:00		懇談会	1	8	9		
5月9日(月)	10:00~12:00		懇談会	1	10	11		
5月23日(月)	10:00~12:00		懇談会	1	9	10		
6月13日(月)	10:00~12:00	ミニ脳トレ塾 (そらまめ体操・体力測定・ 脳トレ)	講習	3	14	17	介護保険課地域支援担当	
6月27日(月)	10:00~12:00		懇談会	2	11	13		
7月11日(月)	10:00~12:00		ミニ脳トレ塾 (そらまめ体操・体力測定・ 脳トレ)	講習	3	12		15
7月25日(月)	10:00~12:00		懇談会	3	8	11		
8月22日(月)	10:00~12:00		ミニ脳トレ塾 (そらまめ体操・体力測定・ 脳トレ)	講習	3	10		13
9月12日(月)	10:00~12:00	特殊詐欺に関する防犯講座	講習	3	9	12	春日部警察署	
9月26日(月)	10:00~12:00	演奏会	鑑賞	2	7	9	THE かけはし	
10月24日(月)	10:00~12:00	思い出を書こう、語ろう	講習	1	11	12	明治安田生命保険相互会社	
11月14日(月)	10:00~12:00	ライフ&エンディングノート を活用しよう	講習	4	8	12	明治安田生命保険相互会社	
11月28日(月)	10:00~12:00	演奏会	懇談会	6	12	18	THE かけはし	
12月12日(月)	10:00~12:00	クリスマス会	懇談会	2	9	11		
1月23日(月)	10:00~12:00	新年会	懇談会	1	6	7		
2月13日(月)	10:00~12:00	睡眠講座	講習	1	9	10	明治安田生命保険相互会社	
2月27日(月)	10:00~12:00	パネルシアター	鑑賞	2	16	18	パネルっこの会	
3月13日(月)	10:00~12:00	ひなまつり	懇談会	2	15	17		
3月27日(月)	10:00~12:00	花見(庄和総合公園)	散策	2	18	20		
20回	40時間			44	211	255		
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 井戸端サロンふれあい隊と共に企画運営を行う。 地域の高齢者に様々な学習機会の場を提供すると共に参加者同士の交流を図る。 要望に応じて施設見学を行う。 コロナウィルス感染症対策として「春日部市公民館における新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」を遵守して行う。 活動費として参加費100円を徴収し、運営に役立てる。 							
成果 参加者の 声など	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が興味関心のある題材を取り上げた。 コロナ禍ではあったが、年間通して事業を行うことができた。 							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> 今後もふれあい隊と協力しながら、事業を継続していきたい。 回を重ねるにつれ、リピーターが増えたが、新規の参加者も増やしたい。 今年度は行えなかった施設見学などの事業も取り入れたい。 							

事業名 テーマ	子育てサロン「親子のひろば」		対象	0～5歳児とその保護者		定員	内容ごと	
ねらい	すべての保護者が、安心して子育てや家庭教育を行えるよう、学習機会や相談の場を提供する。							
協力機関 及び団体	春日部地区更生保護女性会庄和地区		特色 位置づけ	家庭教育の充実		SDGs の目 標No	4・17	
会場	庄和市民センター正風館 2階 和室、 3階 講義室		教材 資料等	講師持参 他				
実施ま での経 過	随時	春日部地区更生保護女 性会庄和地区と打合せ 講師と打ち合わせ 公民館だよりに掲載	PR方法	庄和地区公民館だより掲載 安心安全情報メール配信 チラシ配布				
	随時 隔月		受付方法	電話または直接窓口で事前申込み				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回 数	総時間数							
5月19日(木)	10:00～11:30	お楽しみ会	実技	4	23	27	栗岡 一矛・西村 範子・ 庄和図書館スタッフ	
7月21日(木)	10:00～11:30	乳幼児救急救命講座	実技	5	24	29	春日部市消防本部職員	
9月15日(木)	10:00～11:30	親子で楽しむベビママヨガ	実技	4	24	28	鈴木 さくら	
11月17日(木)	10:00～11:30	親子でみかん狩りへ出かけよう	実技	8	15	23	ライス・ハウス・かわなべ	
12月8日(木)	10:00～11:30	ちよっぴり早いクリスマス	実技	6	28	34	栗岡 一矛・西村 範子・ 庄和図書館スタッフ	
1月19日(木)	10:00～11:30	丸シールで思い出を飾ろう	実技	1	9	10	山本 はる美	
3月16日(木)	10:00～11:30	仲間と楽しく育児疲れケア体操	実技	1	8	9	柿沼 直美	
								
7回	10時間30分			29	131	160		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 継続的参加を期待して奇数月及び12月に開催し、全7回行う。 更生保護女性会に講座の企画運営、託児、広報の協力をお願いする。(令和4年度は、感染防止対策をし託児を実施) 地区内で活動している幼児教育に見識のある講師を招く。 参加型の内容とし参加者相互の交流を図る。 							
成果 参加者 の声など	<ul style="list-style-type: none"> 子育て中の方が気軽に交流出来る場として、継続して参加する親子が多くいた。 親がリフレッシュする良い機会となっている。参加者からは、「赤ちゃんの救急対応を学ぶ機会がほとんどないので参加できてよかった。(7月21日講座)」、「気持ちよく体を動かせ、子供も楽しそうでした。(9月15日講座)」、「バス移動、みかん狩りも初めての体験でとても楽しかった。(11月17日講座)」、「楽しいリズムや読み聞かせ、サンタクロースの登場、プレゼントありがとうございました。(12月8日講座)」などの感想をいただいた。 							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、本来の目的である子育て中の方が気軽に交流、相談、子育ての不安を解消できる機会と居場所の提供を確立していきたい。 引き続き子育てに関する知識や情報が得られる楽しい企画を実施したい。 参加者のリピート率は高いものの参加者数は減少傾向にあるので子育て中の方のニーズを把握して次年度に向けて検討していきたい。 							

庄和地区 7

事業名 テーマ	しょうわ塾 ①「バルーンアート」 ②「初めて出会うコンチェルト」 ③「星空教室」		対象	①一般 ②一般 ③小学校高学年 以上	定員	①-1 15人 ①-2 10組 ②200人 ③20人	
ねらい	生涯学習市民推進員との共催で実施する。地域における生涯学習の推進を図るために、地域住民に多様な学習機会を提供するとともに新たなる事業内容や学習方法などを開発する。						
協力機関 及び団体	生涯学習市民推進員 ①庄和チャレンジ隊		特色 位置づけ	成人の学習機会 の充実	SDGsの 目標No	4・11・17	
会場	①正風館 会議室1.2.3 ②正風館 大ホール ③正風館 会議室1.2.3		教材 資料等	①レジュメ ②プログラム ③レジュメ			
実施ま での経 過	①3月上旬	生涯学習市民推進員と 打ち合わせ ②生涯学習市民推進員 と打ち合わせ ③生涯学習市民推進員 と打ち合わせ 1月中旬 庄和地区小中学校チラシ 配布	PR方法	①公民館だより4・6月号 ②公民館だより6・8月号 ③公民館だより12・2月号 その他毎回ポスター・チラシ配架など			
	②5月下旬		受付方法	①4/10・6/8～電話または窓口で受け 付け参加費は当日徴収(4/27 300円、 7/31 150円) ②8/10～電話または窓口で受け付け 参加費は当日徴収 ③12/8～電話または窓口で受け付け			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
4月27日(水)	13:30～15:00	「バルーンアートで人気者 になろう!」(基礎) 7月31日(日) 10:00～12:00 「バルーンで動物を作って みよう!」(発展)	実習	3	13	16	庄和チャレンジ隊
				中止			樋籠松寿会
9月25日(日)	13:30～15:30	「初めて出会うコンチェルト」 ピアノとエレクトーンで楽し む秋のコンサート 2月18日(土) 10:00～12:00 天体や星座に関する講座	鑑賞	35	140	175	松丸 弘子 神足 麻由 ピアニスターズ
				3	21	24	文化財保護課 長谷川 清一
3回	7時間			41	174	215	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習市民推進員と共に企画運営を行う ①・学習成果をボランティア活動などに活かせる内容とし、ひいては公民館事業への協力者を養成する意味合いを持たせる ・第2回目は、夏休み親子企画とし、若い世代の公民館事業への関心を促す ②・庄和地区にゆかりのある講師を依頼する ③・庄和地区の小中学校へ追加で チラシを配架した。 ・講話だけではなく、星座早見盤の使い方や月球儀を用いた月食の解説なども行った。 						
成果 参加者の 声など	<p>①当初1回のみでの予定であったが、参加者からより高い技能の習得を希望する声があり、2回目を計画した。「イベントに良いと思った」「幼稚園の子どもたちに作ってあげようと思った」「ボランティア活動に使えるそうに参加した」など、学習成果の活用に繋がる内容を提供できた。第2回目は、親子を対象とし、若い世代の参加を見込んでいたが、コロナウィルス感染拡大のため、講師の申し出により中止となった。</p> <p>②コロナ禍の影響で精神的に抑圧された日々が続いている中、音楽がもたらす心の安寧を提供することができた。「コロナで出かけることが少なくなり、近くでこんな素晴らしい音楽に触れることが出来てありがたいです。」「本格的なコンサートで感動した」「毎年やってほしい」などの声が聞かれた。</p> <p>③定員以上の申し込みがあり、小学3年生から50代以上の方まで幅広い年齢層の参加があった。「星空のことがよくわかりました。」「楽しく聞く事ができました。日頃何も気にせず過ごしてきましたが夜空をたまに見ようと思いました。」「とてもワクワクしながら聞いていました。今度は実際に空を見ながら教えていただきたいです。」などの声があった。</p>						
課題と展望	<p>①「ボランティアで使えるようなもの」を希望する声があり、今後も一過性の学習でなく、後々地域で活躍する人材を養成する意図を持って事業計画を立てる必要がある。</p> <p>②協力者の方の負担を軽減するための予算措置などを再考し、社会状況に対応したより良い事業を続けていく必要がある。</p> <p>③次回は実際に観察しながらの講座も検討したい。</p>						

事業名 テーマ	教養講座		対象	一般		定員	各回20名	
ねらい	地域住民の声や社会情勢を鑑みて、一般成人の学習ニーズに対応したテーマを年代に合わせて実施する。							
協力機関 及び団体	明治安田生命保険相互会社		特色 位置づけ	成人の学習機会 の充実 関係機関等との 連携		SDGs の目標 No	4・10	
会場	正風館 会議室1・2・3		教材 資料等	レジュメ				
実施ま での経過	3月 6月1日 6月8日 8月24日 8月31日 9月7日	講師と打ち合わせ 公民館だより6月号掲載 各回講座受付開始 講座実施(1回目) 講座実施(2回目) 講座実施(3回目)	PR方法	公民館だより6月号 ポスター、チラシ配架				
			受付方法	6月8日(火)から窓口または電話で 受け付け				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
8月24日(水) 8月31日(水) 9月7日(水)	10:00~12:00 10:00~12:00 10:00~12:00	「今から取り組もう!防災講座」 備えて安心!住宅避難のススメ 災害に備える「防災脳」を活性化! 突然の地震に備える防災 知識とアクションプラン 	講義 講義 講義	7	9	16	明治安田生命保険相 互会社	
				10	9	19		
				6	8	14		
3回	6時間			23	26	49		
企画運営 上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や台風などの災害に対する知識を深め、対策について考える講座とする ・民間企業との連携事業として明治安田生命保険相互会社に協力を仰ぐ ・防災対策課と連携して、防災食を配布する ・「春日部市公民館における新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」を遵守して行う 							
成 果 参加者の 声 など	<p>参加者は50代以上で、そのうち70~80代が全体の70パーセントを超えた。「年代的に早めに避難したいので、どうすれば年寄り夫婦が無事に避難できるかを知りたかった」「防災グッズ、何をどれだけ必要かわからなかったので参考になった」「在宅避難という発想が無かったので参考になった」等、日頃漠然と抱えていた災害に対する不安を解決する糸口を得ることができた。</p> <p>また、「パソコン等で春日部ハザードマップが調査できるのが非常に参考になった」「防災アプリを教えていただいたので役立てたい」など、新しいツールを使用して防災に役立てる知識を習得できた。</p>							
課題と展望	<p>今回の講座では、自治会の防災担当者や防災士の参加が多くあった。災害対策においては、自治体だけでなく、個人や地域の日頃の取り組みが重要であるが、なかなか「自分事」として捉えて行動に移すことは難しい。公民館ではこれからも「暮らしの中の防災対策」について、地域と共に考えていく。</p>							

庄和地区 9

事業名 テーマ	健康講座「楽しく学ぶ！認知症予防講座」		対象	一般		定員	各回20名	
ねらい	地域住民の健康に関する学習要求に対応して、健康の維持管理に役立つ知識や方法を習得する。							
協力機関 及び団体	明治安田生命保険相互会社		特色 位置づけ	学習課題に対応 した事業		SDGs の目 標No.	3・4	
会場	正風館 多目的室、視聴覚室		教材 資料等	レジュメ				
実施ま での経 過	3月	打ち合わせ、依頼 ポスター、チラシ配架 公民館だより4月号掲載 受付開始	PR方法	公民館だより4月号 ポスター、チラシ配架				
	4月1日 4月8日		受付方法	4月8日(金)から窓口または電話で 受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
5月11日(水)	10:00~11:30	認知症を知ろう	講義 実習	4	15	19	明治安田生命保険 相互会社	
5月18日(水)	10:00~11:30	思い出を書こう、語ろう	講義 実習	2	14	16		
5月25日(水)	10:00~11:30	ライフ&エンディングノ ートを活用しよう	講義 実習	3	17	20		
3回	4時間30分			9	46	55		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業と連携して実施する ・講義だけでなく、軽く体を動かす運動やノートの作成などの体験を交える ・健康マイレージスタンプカード対象事業とする ・新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じて行う 							
成 果 参加者 の声 等	<p>認知症、介護などの身近なテーマを取り上げたことにより、参加者が関心を寄せていた ことができ、全般的に好評だった。 思い出ノート作成では自身の半生を振り返ることで脳の活性化につながった。 エンディングノートを活用するで自身に万が一のことがあった時のために、家族や親し い人へのメッセージを情報共有できるなどの声があった。</p>							
課題と展望	来年度も、健康維持に役立つ知識や方法を習得する体験ができるような健康講座を 行っていきたい。							



事業名 テーマ	利用者のつどい		対象	公民館利用者	定員	定めず	
ねらい	公民館の役割や規則を理解して頂き、有意義で円滑な公民館の利用方法を浸透させる。また、利用者との意見交換が出来る場を提供し、利用者同士の交流を図る。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	市民の声を生かす 仕組みづくり	SDGs の目標 No	4・11		
会場	庄和市民センター正風館 会議室1～3		教材 資料等	会議資料			
実施までの経過	12月1日(水) 12月16日(金)～	公民館だより12月号掲載 ポスター掲示、利用者団体へチラシ配布 参加団体募集開始 当日(準備を含む)	PR方法	公民館だより12月号 ポスター掲示 利用団体へチラシを配布			
	2月2日(木)		受付方法	12月16日(金)から令和5年2月1日(水)までに窓口または電話で受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
2月2日(木)	13:30～15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修会 ・公民館の利用について ・公民館利用団体票について ・公民館へのご意見・ご要望について ・意見交換 	鑑賞 説明 説明 説明 意見交換	8	21	29	公民館職員 公民館職員 公民館職員 公民館職員・参加者
				8	21	29	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、参加団体を事前申込制にする ・公民館利用団体へ「春日部市公民館における新型コロナウイルス感染防止ガイドラインガイドライン」を資料に含めて、当日に説明した ・ポスター掲示や日々の利用団体へチラシを配布し、これから利用する方や利用団体へ開催の広報に努める ・人権研修会と同時に開催する 						
成果参加者の声など	事前申込制にしたところ21団体からの申し込みがあった。また、当日参加が6団体もあった。						
課題と展望	今後も利用者と公民館側との意見交換が出来る場として提供していきたい。また、開催の曜日や時間帯を変更を検討することで、今回不参加の団体への参加を促したい。						

庄和地区 11

事業名 テーマ	人権研修会		対象	公民館利用者	定員	定めず	
ねらい	人権問題について学習し、正しい理解と認識を深めることを目的とする。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	学習課題に対応 した事業の展開 (人権)	SDGs の目標 No	4・5・ 10・16		
会場	庄和市民センター正風館 会議室1～3		教材 資料等	人権啓発DVD「生まれ来る子へ —家庭の中の人権—」			
実施ま での経過	12月1日(木) 12月16日(金) ～ 2月2日(木)	公民館だより12月号掲載 ポスター掲示 利用団体へチラシ配布 参加団体募集開始 当日(準備を含む)	PR方法	公民館だより12月号 ポスター掲示 利用団体へチラシを配布			
			受付方法	12月16日(金)から令和5年2月1日 (水)までに窓口または電話で受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
2月2日(木)	13:30～14:00	人権について研修 人権啓発DVD 「生まれ来る子へ —家庭の中の人権—」	鑑賞	8	21	29	
1回	30分			8	21	29	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、参加団体を事前申込制にする ・人権啓発DVDを上映し、人権についての理解を深める ・ポスター掲示や日々の利用団体へチラシを配布し、これから利用する方や利用団体へ開催の広報に努める ・参加者には人権啓発品を配布する ・利用者のつどいと同時に開催する 						
成果 参加者の 声など	事前申込制にしたところ21団体からの申し込みがあった。 また、当日参加が6団体もあった。						
課題と展望	今後も人権についての正しい知識を学び、身近な問題であることを理解してもらうことで、さらなる啓発に努めたい。						



事業名 テーマ	Showa キッズぴあ	対象	小学生または 小学生とその保護者	定員	定めず		
ねらい	学習要求に対応した多彩な学習機会を提供するため、子どもの興味関心に基づく内容を取り上げ、青少年教育の充実を図る。						
協力機関 及び団体	coco..luana、庄和おはなしボランティア 山本 はる美氏、庄和チャレンジ隊 手形アート、年少リーダー 生涯学習市民推進員	特色 位置づけ	青少年健全育成 事業	SDGs の目 標No.	4・5・11・ 16・17		
会場	庄和市民センター正風館	教材 資料等	講師持参				
実施ま での経 過	7月～10月 8月	事業内容検討 公民館だよりでボランティア 募集	PR方法	・ポスター・チラシ・公民館ブログ ・公民館だより(12月号・2月号) ・安心安全メール ・各公共施設にポスター等を配架			
	10月26日(水) 12・2月 12月7日(水) 2月12日(日)	第1回調整会議 公民館だより掲載 第2回調整会議 実施		受付方法	事前受付または当日受付 参加費 無料		
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
2月12日(日)	13:00～15:30	キッズヨガ みんな集まれ！お話し会 丸いシールを貼って作ろ う！絵皿とカップ やってみよう！バルーン・アート 手形アート 君だけのストラップ！ プラ板作りに挑戦！ わくわく！子ども広場！	運動 工作 工作 工作 工作 工作 遊戯			22 40 62 80 26 101 150	coco..luana. 庄和おはなしボランティア 山本 はる美氏 庄和チャレンジ隊 Aoi Sora 庄和南公民館職員 年少リーダー
1回	2時間30分			117	364	481	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいを創造するため、複数の催しを行う ・公民館だよりでボランティアを募る ・中央公民館主催事業 年少リーダー研修会の子どもたちにコーナーを担当してもらう ・公民館ガイドラインに則り、コロナ対策を図る 						
成 果 参加者の 声 など	コロナ禍のため、3年ぶり2回目の実施。参加者数は前回比120%で多くの親子で賑わった。「とても楽しかった。来年もやりたいです。」「家ではプラ板をやってもうまくいなくて、だからここでできて良かったです。」「小さな子どもが簡単に出来て良かった。小学生の子と一緒に遊ぶ機会が少ないので良い体験ができました。」などの声が聞かれた。						
課題と展望	ボランティアを募集したところ多数の応募があり、コーナーと受付を担当していただいた。コーナーの運営は各団体が行い、企画から準備、実施までを公民館と相談しながら進めた。このように、子ども、保護者、地域の方が一堂に会して交流できる催しは貴重で、地域の絆を深める良い機会となった。来年度も継続を希望する声が多く寄せられている。外看板や、ホールの催しがあっても良いのではないかとのご意見を頂いており、実現に向けて企画したい。						



庄和地区 13

事業名 テーマ	学校開放講座「パドル体操で身も心も健康に！」		対象	一般		定員	30人	
ねらい	学校教育と社会教育の連携をはかるため、学校施設を使用し地域住民との交流を図る。							
協力機関 及び団体	江戸川小中学校		特色 位置づけ	学社連携事業		SDGs の目 標No	4・17	
会場	江戸川小中学校 体育館		教材 資料等	講師持参				
実施ま での経 過	11月初旬	学校との打合せ 講師との打合せ 会場下見 12月号公民館だより掲載 参加受付開始 実施	PR方法	12月号公民館だより掲載 ポスター掲示及びチラシ配布				
	11月下旬 12月1日 12月9日～ 1月18日			受付方法	直接または電話で正風館にて受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男	女	合計		
1月18日(水)	13:30～15:00	パドルを使用して体操を行う 	体操	1	15	16	NPO法人パドル ジャークス体操協会 及川 優子 	
1回	1時間30分			1	15	16		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・庄和北部地域の利用者の利便性を図るため、学校の施設を借用する。 ・冬季の運動不足を解消するため、軽い運動を行い健康増進に寄与する。 ・庄和地区内の公共施設、駅にポスターの掲示、チラシの配架を行う。 ・事前に駐車場などの会場説明を十分に行う ・冬季のため会場を暖房し、環境を整える ・コロナウィルス感染症対策に留意する 							
成 果 参加者の 声 など	江戸川小中学校との連携により、体育館という広い空間を利用して運動する機会が得られた。 また、埼玉県発祥のパドル体操を紹介することができた。「パドル体操を初めて知りました。激しい動きでないのが良かったです。」「参加者も皆さん良い人らしく、年齢層も同じくらいで私たちのレベルに合わせた体操だったので大変楽しかった。」「頭の体操あり、手話ありで最後まで楽しめました」「老人会とかにも来ていただけたらな、と思う。」などの声をいただいた。							
課題と展望	地域住民との交流を図るため児童、生徒、先生も参加していただきたいかったが、コロナ禍のため参加者、社会教育課職員、公民館職員での実施となった。本来の「学校の持つ教育力をもって地域と学校が連携し、地域全体の教育力を上げるとともに地域に開かれた学校づくりを推進する」ためには、現在のコロナによる社会環境が大きな障害となっている。次年度は公民館サイドの広報のみではなく、学校にもPTAなどへの呼びかけをしていただくなど、保護者や児童生徒も参加できる工夫を働きかける必要がある。							

事業名 テーマ	ステップアップギャラリー		対象	一般		定員	72点	
ねらい	階段ギャラリーを活用し、公民館利用団体の学習成果を発表する場を提供する。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ	学習成果の発表		SDGs の目 標No.	4・11	
会場	庄和市民センター正風館階段		教材 資料等					
実施ま での経 過	R3年12月	公民館だよりにて次年度 展示希望者を募集	PR方法	庄和地区公民館だより掲載				
	R4年4月～ R5年2月の 偶数月	公民館だより掲載	受付方法	窓口				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
4月・5月	2か月間	さすいクラブ			6			
6月・7月	2か月間	精墨会			6			
8月・9月	2か月間	色彩スケッチクラブ			6			
10月	1か月間	精墨会			6			
11月	1か月間	ファミリーキルト			6			
1月	1か月間	大風絵手紙の会			6			
2月	1か月間	押し花さくら草			6			
3月	1か月間	精墨会			6			
11回	11か月				48			
企画運営上 の工夫	公民館だよりやポスター・チラシにて展示希望団体を募集する。 窓口などで積極的に呼びかけを行う。 作品名・作者名のプレートを取り付ける。 作品に照明をあてて見えやすくする。 絵画、手工芸、絵手紙など様々な種類の展示を行う。							
成果 参加者 の声など	階段で足を止めて作品を鑑賞する利用者の姿が多く見受けられた。 作品について話し合い、利用者間の交流のきっかけとなっていた。							
課題と展望	新型コロナウイルス感染拡大により、活動を休止していた団体が多く、展示する作品が 仕上がらないとの理由から8団体のみ参加であった。団体にお願ひし、2ヶ月間展示 していただくなどしたが、令和5年5月をもって、新型コロナウイルス感染症の感染症法 上の位置付けが5類に移行することなどから、活動が活発化することが見込まれるた め、より積極的な呼びかけを行い、多くの団体に展示協力を依頼したい。							

庄和地区 15

事業名 テーマ	庄和地区芸能大会ふれあいステージ		対象	概ね高齢者	定員	251名	
ねらい	芸能を通じて、会員及び一般市民の福祉の増進を図る。						
協力機関 及び団体	庄和地区いきいきクラブ連合会	特色 位置づけ	高齢者福祉事業	SDGs の目 標No	3・4・11・ 17		
会場	庄和市民センター正風館 大ホール		教材 資料等	プログラム			
実施ま での経過	8月 10月1日 10月1日～ 11月1日 1月18日 2月15日 2月16日	打合せ、共催承認 公民館だより10月号掲載 参加団体募集 舞台業者との打合せ 全日準備 実施日	PR方法	公民館だより10月号 ポスター掲示・チラシ配布			
			受付 方法	当日、直接会場にて受付			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計		合計
2月16日(木)	9:00～12:00	開会式 各クラブの発表 一般参加団体の発表 閉会式	発表 鑑賞	50	150	200	庄和地区いきいきク ラブ連合会
							
1回	3時間			50	150	200	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の福祉増進を図るため、日頃の活動の成果を発表し、会員同士の交流と親睦の機会とする。 ・一般市民にも広く参加を呼びかけ、地域住民との交流を図る。 ・春日部市コロナ対策ガイドラインを遵守した。 						
成果 参加者の 声など	新型コロナウイルスの影響により、3年ぶりの開催となった。 参加者や来場者共に概ね好評だったようだ。						
課題と展望	借用会場や時間帯を見直して、庄和地区いきいきクラブ連合会と連携を図りながら続けていきたい。						

事業名 テーマ	教養講座(庄和南)		対象	各事業ごとに設定		定員	各事業ごとに設定	
ねらい	地域住民の声や社会情勢を鑑みて、地域住民の学習ニーズに対応したテーマを、年代に合わせて実施する。							
協力機関 及び団体	ドコモショップイオンモール春日部店 宝そばクラブ		特色 位置づけ	民間事業者と連携した事業を含む		SDGsの 目標No	3(ヨガのみ)・4	
会場	工作教室、スマホ講習会:学習室1・2 チェアヨガ:多目的ホール 手打ちそば講習会:調理室		教材 資料等	スマホ講習会:スマートフォン2機種、レジメ 手打ちそば講習会:レシピ				
実施までの経過	2月・3月・6月	工作教室:講師依頼・打合せ ヨガ:講師依頼・打合せ ドコモショップとの打合せ そば打ち:講師依頼・打合せ	PR方法	公民館だよりに募集記事掲載 ポスター・チラシ				
	2月・4月・9月 7月・8月 8月・9月		受付方法	各事業ごとに、先着順に、窓口または電話で受け付け				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
7月30日(土)	10:00~12:00	夏休み子ども工作教室 「モザイクタイルでコースターを作ろう」	体験	5	6	11	チェアヨガ指導者 鈴木 さくら ドコモショップ イオンモール春日部店からの派遣(2名) 小谷中 三男 船塚 實	
9月5日(月)	10:00~11:30	大人のやさしいチェアヨガ	体験	0	20	20		
1月16日(月)	10:00~11:30	大人のやさしいチェアヨガ 第二弾	体験	0	15	15		
10月26日(水)	午前コース 10:00~12:00 午後コース 13:30~15:30	スマートフォン体験講習会	体験	4	9	13		
				3	10	13		
11月5日(土)	9:00~12:30	初めての手打ちそば講習会	実習	4	7	11		
6回	12時間30分			16	67	83		
企画運営上の工夫	工作教室:小学生に、工作を通じて色にも関心を持ってもらう体験学習の機会を作った チェアヨガ:ひざや腰に不安がある方でも取り組める内容で、好評につき2事業実施。 スマホ:民間事業者と連携し、0予算事業として、同じ内容で午前と午後を実施した。 そば打ち:そば打ちに必要な釜や道具を活用し、利用クラブの協力を得て実施した。							
成果参加者の声など	工作教室:好きな色の材料を選ぶことなどから、色に関心を持ってもらうことができた。 チェアヨガ:「外出の機会が少ない中で体を動かせるのはありがたい」等、好評だった。 スマホ:アンケート結果では、1人を除いて、役に立ったとする回答が得られた。 そば打ち:協力者の支援もあり、スムーズな進行と高い理解度・満足度が得られた。							
課題と展望	工作教室:個人差もあるが低学年では難しいところもあった。対象学年の検討が必要。 チェアヨガ:男性からの参加希望もあったので、男性も参加できるヨガを企画したい。 スマホ:今後、別の内容や対象で実施する場合には、講師謝礼が必要。 そば打ち:今後も施設・設備を活用した事業の実施を検討していきたい。							

庄和地区 17

事業名 テーマ	庄和南音楽鑑賞会 ①「風薫コンサート」～心にしみる癒しのメロディー～ ②「庄和南ライブフェスタ」		対象	一般	定員	①50名 ②60名	
ねらい	公民館利用団体の発表の機会を作るとともに、地域住民に演奏を楽しんでもらい相互の交流を深める。さらに公民館を利用するきっかけを提供するものとする。						
協力機関 及び団体	プラグド(音響・照明操作) 庄和南導引養生功(幕間レクリエーション)		特色 位置づけ		SDGsの目 標No	4・11	
会場	多目的ホール		教材 資料等				
実施ま での経 過	令和3年度中 4月29日(金)	「風薫コンサート」 日程・内容打ち合わせ リハーサル	PR方法	公民館だよりに予告・募集記事掲 載、ポスター・チラシ、公民館ブログ 安心安全メール、ツイッター発信			
	10月5日(水) 3月5日(日)・ 11日(土)	「庄和南ライブフェスタ」 日程・内容打ち合わせ リハーサル	受付方法	各事業ごとに、先着順に、窓口また は電話で受け付け			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
5月8日(日)	14:00～15:30	「風薫コンサート」 ～心にしみる癒しの メロディー～	鑑賞	21	38	59	The父ちゃんバンド
3月12日(日)	12:50～16:30	「庄和南ライブフェスタ」 参加バンド5バンドによる コンサート 幕間レクリエーション(導 引養生功)	鑑賞 体験	17	43	60	マンスリージャズオーケストラ スウィングベアーズ SHARKY'S GOM BAND WEED-X 庄和南導引養生功
2回	5時間10分			38	81	119	
企画運営上 の工夫	「風薫コンサート」:申込みが多数あったため、定員50名のところ、距離を保つことので きる範囲で定員を増やした。 「庄和南ライブフェスタ」:バンドとバンドが入れ替わる間に、気功の体験を企画した。						
成 果 参加者の 声 など	「風薫コンサート」:来場者アンケート結果では、概ね満足という評価だった。また、素晴 らしかった、感動した、元気をもらった、ぜひまた開催して欲しい、などの声が多く好評 だった。 「庄和南ライブフェスタ」:バンドとバンドの入れ替わる間に気功体験をしてもらったが好 評であり、長時間のコンサートを楽しんでいただくことができた。						
課題と展望	「風薫コンサート」:全員合唱を望む声があったが、感染拡大防止のため実施できな かった。ガイドラインの緩和により、全員合唱ができることが期待される。 「庄和南ライブフェスタ」:音響設備が古く機能しない箇所があったが、プラグドスタッフ の適切な対応で問題を克服してくれた。						

事業名 テーマ	展示イベント	対象	庄和南公民館 来館者	定員	定めず		
ねらい	公民館ロビーを様々な情報発信、イベントの場として活用する。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11		
会場	1階ロビー	教材 資料等					
実施ま での経 過	展示イベントは、ロビー利用に制限があつたため中止した。 ガラスケース内展示のみ、随時受け付けし、実施した。	PR方法					
		受付方法	ガラスケース内展示は随時受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回数	総時間数			計	計	計	
12月13日(火) ～1月31日(火)		ガラスケース内展示 市展に入選・入賞した 陶芸作品の展示	展示				なごみ会・他
							
企画運営上 の工夫	新型コロナウイルス感染防止対策で、ロビーの利用が館内利用者に限られていたため、展示イベントは中止した。但し、ロビーに常設されているガラスケースの貸し出しは行い、利用団体の作品等の発表の場として、ガラスケース内での展示を行った。						
成 果 参加者の 声 など	ガラスケース内展示の申し込みが1件あり、約1か月間、陶芸作品の展示を行った。						
課題と展望	ロビー使用が可能になれば、利用団体の活動成果の発表の場として、また公民館活動に興味をもってもらう機会として、ロビーを利用した作品展示を実施したい。						

庄和地区 19

事業名 テーマ	教養講座「庄和南将棋の広場」		対象	一般	定員	各回10名	
ねらい	月4回開放日とし、気軽に誰でも参加でき、将棋を学び楽しむことのできる場とする。また、出会いの場を提供することにより、共通の趣味を持たれた方たちの公民館活動のきっかけを図る。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ		SDGs の目 標No	4・11		
会場	庄和南公民館 学習室(2)		教材 資料等	将棋用具一式			
実施ま での経過	9月下旬 12月1日	日程・詳細打ち合わせ ポスター掲示、チラシ配 布	PR方法	公民館だより12月、2月号に掲載 館内にポスター・チラシで告知			
	12月14日 12月15日 1月11日	公民館だより12月号掲載 最終打合せ 申込開始 事業開催当日		受付方法	当日先着順10名		
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回 数	総時間数						
1月11日(水)	9:00～12:00	将棋の対局	対局	7	0	7	
1月18日(水)	9:00～12:00	将棋の対局		6	0	6	
1月25日(水)	9:00～12:00	将棋の対局		5	0	5	
2月1日(水)	9:00～12:00	将棋の対局		8	0	8	
2月8日(水)	9:00～12:00	将棋の対局		8	0	8	
2月15日(水)	9:00～12:00	将棋の対局		8	1	9	
2月22日(水)	9:00～12:00	将棋の対局		4	0	4	
3月1日(水)	9:00～12:00	将棋の対局		7	1	8	
3月8日(水)	9:00～12:00	将棋の対局		7	1	8	
3月15日(水)	9:00～12:00	将棋の対局		8	1	9	
3月22日(水)	9:00～12:00	将棋の対局		8	0	8	
11回	33時間			76	4	80	
企画運営上 の工夫	「春日部市公民館における新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」を尊重して行う。 水曜日に利用されていなかった学習室(2)を活用する。 公民館に保管されている将棋の教具を活用する。						
成 果 参加者 の声 など	日頃、公民館を利用している女性が将棋の広場のチラシをご覧になりご主人に紹介し参加されたケースが6～7割であり家庭内で公民館の利用が拡大できたことは意義があった。数十年前職場で将棋を指していた人たちが久しぶりに公民館で将棋と出会い新しい仲間ができたことと喜んでいただけた。						
課題と展望	将来主に参加率が高いメンバーで将棋サークルを立ち上げることで、庄和地区に眠っている将棋ファンを掘り起こし将棋文化を広めていきたい。						

<p>事業名 マ</p>	<p>公民館だより「しょうわ」発行</p>		<p>対象</p>	<p>庄和地区内</p>	<p>定員</p>
<p>ねらい</p>	<p>公民館事業のPRや報告、地区内社会教育団体の活動PR及び地域情報を庄和地区内の住民に提供する。</p>				
<p>協力機関 及び団体</p>			<p>特色 位置づけ</p>	<p>学習情報の提供</p>	<p>SDGs の目 標No 4・11</p>
<p>会場</p>					
<p>実施までの経過</p>	<p>2ヶ月前～ 1ヶ月前～ 前月下旬 隔月1日 (偶数月)</p>	<p>原稿調整 作成・編集 校正・印刷 発行</p>	<p>PR方法</p>	<p>掲載を希望する団体は、公民館だより掲載依頼書を前月1日までに提出。</p>	
<p>月日(曜)</p>	<p>時間</p>	<p>内容</p>	<p>方法</p>	<p>参加者 男 女 計 計 合計</p>	<p>講師・助言者の職名 氏 名</p>
<p>回数</p>	<p>総時間数</p>	<p>発行(公民館事業の広報) 庄和地区内約13,500部配布</p>			
<p>6回</p>					
<p>企画運営上の工夫</p>	<p>事業名称などのタイトルを大きく赤字で掲載し、表記の仕方を統一して見やすいレイアウトとした。 また、今年度より事業の講師名・関係団体名にルビを入れるようにした。</p>				
<p>成果参加者の声など</p>	<p>事業参加者へのアンケートから、公民館だよりを見て申し込みや来館される方が多く、地域住民の情報収集の手段となっているようである。</p>				
<p>課題と展望</p>	<p>公民館からの情報提供だけでなく、利用者からの情報を取り上げて掲載するなど内容を充実させていきたい。 視覚的にわかりやすく、興味を持ってもらえるような紙面としたい。</p>				